



ちくざん



ハッピーフラワーまきょうだい

秋田市立築山小学校 校報No.10
R5.3.3発行

儀式が大切なのは

3月に入ると、学校は、にわかに卒業の雰囲気漂い始めます。6年生ありがとう集会等の在校児童からのなむけ、子どもたちが交換し合うメッセージ帳、これまでお世話になった方々から届き始める祝詞、そういったものを目にするたび、本当に巣立ちの日が近いことを感じずにはいられません。

卒業式は学校にとって何よりも大切な儀式です。儀式ですから、当然様々な様式があります。ただ、近年オリンピックの開会式や閉会式がカジュアルになってきている様子やコロナ禍で式典に参加する機会が失われている現状を見ると、昔の子どもたちよりも儀式の意義を感じづらくなっているのではないかと考えるようになりました。

実は、自分自身も子どもの時分に「この格式張った儀式というものに何の意味があるのか」「卒業生たちが楽しめるようなスタイルが本来あるべき卒業式なのではないか」と思っていました。今となってはかなり「中二病」的な発想ですが、当時は大真面目でした。そんな時代を経て、「儀式は大切」と思えるようになったのは、国語の教師として言葉を生業としたことが大きかったと思います。

小学校、中学校、高校、大学、大学院、と5回の卒業式を経験しましたが、その全てが忘れられないものになっています。「よき友人、よき師、よき体験に恵まれ、入学した時に比べると成長できた」「絶対に忘れることのできないよい学校生活だった」という、自分が過ごしてきた学校生活に対する誇らしさがあったからでしょう。

卒業が近づくにつれ「最高の思い出を仲間や先生と共有したい、親にも自慢したい」そんな思いがあふれてくるのですが、それを言葉にして言うのは照れくささもあるし、言葉では言い尽くせないというのが正直なところでした。卒業文集の数百文字では到底足りないし、メッセージ帳に長々と書くのは野暮というものです。伝えたいことがあればあるほど、大きければ大きいほど、言葉のもつ限界というものを感じずにはいられません。

「言葉では伝えきれない思いがある」国語教師がこんなことを言うのはおかしいのかもしれませんが、子どもたちの書いた文章や話を読んだり聞いたりするたびに、子どもたちに大切なことを教えなくてはいけない場面に向き合うたびに、日に日に言葉の限界を実感するようになりました。それは、もどかしくもあり苦しいことではあるのですが、言葉が万能と思うことの方が傲慢なのだと考えるようになりました。

言葉が万能ではないからこそ、私たちは様々な表現を用いてより分かり合おうとするのでしょう。所作や姿勢という形式が生まれたのは、先人たちが言葉では伝えきれないことを受け入れ、克服するための知恵だったのだと思います。言葉で言い尽くせない感謝や惜別の思い、それらを「返事」や「お辞儀」、「歌唱」という所作に込め、成長の証を「姿勢」という態度で表すことで、思いを形にすることにしたのでしょ

う。儀式での振る舞いは、これまでの自分の送ってきた時間に対する自己評価であり、言葉では言い尽くせない思いを、大切な人に伝える手立てです。

さて、儀式にはもう一つ大切な側面があります。それは、儀式という緊張場面を通して子どもたちを成長させることです。緊張は悪いことのように思われがちですが、それは、きちんと緊張できないから生じる感覚です。緊張としっかり向き合い、緊張を自覚できている人は、緊張を力に変え実力以上の力を発揮することができるようになります。（長い部活動指導からの実感です）反対に、緊張をごまかし続けて緊張すべき場面でじっとしていらなかったり、笑ったり、おしゃべりしたりしていると、ごまかしが効かない出来事に直面した時、緊張に吞まれ、為す術を無くします。それが、一生を左右するかもしれません。

また、儀式は型でしかないのかもしれませんが、型の意味を理解すれば、しっかりと判断や行動ができるようになります。（型破りはカッコいいかもしれませんが、型を破れるのは、型を身に付けた人だけです）

子どもの成長に儀式の果たす役割は、意外と大きなものがあるのです。

卒業式で、6年生たちがどんな姿を見せてくれるのか、今から楽しみです。



築山点描 ～学校の様子から～

6年生ありがとう集会

2月28日（火）、卒業間近の6年生に在校児童が感謝を伝える「6年生ありがとう集会」が開催されました。

新型コロナと共にインフルエンザ流行にも配慮し、一堂に会しての集会形式ではなく、前半は各学年が感謝の歌やパフォーマンスを撮影した動画を各学級で視聴しました。後半は体育館に6年生と5年生が移動し、児童会旗の引継ぎ、6年生へのエール、激励メッセージの垂れ幕が収められたくす玉割りの様子を、タブレットを利用して各学級にライブ配信しました。

在校児童のもつ6年生への感謝とあこがれ、最上級生としての貫禄と後輩に築山小を託す6年生の思いが一体となり、温かな気持ちになる時間となりました。

それと、この企画の中心となった5年生の頼もしさに感心させられました。学校のリーダーたらんとする自負が伝わり、6年生も心から安心していただけたようでした。



各学年学級PTA

2月中旬、コロナ禍ですっと見送られてきた、念願の各学年学級PTAを開催しました。授業参観はまだできない状況でしたので、学校生活のスライドをご視聴いただきました。6年生は、PTA企画による6年生を送る会を開き、写真やクイズで自分たちの成長を確かめました。



高校生ボランティア

2月15日、16日、本校出身の秋田高校3年生がボランティア活動に訪れ、授業のお手伝いをしたり、子どもたちと遊んでくれたりしました。在学当時お世話になった先生との再会もあり、充実した活動を送れたようです。

4月からは大学生として新たな道を歩み始めるとのこと。ご活躍をお祈りいたします。

3月の主な行事

- 3日（金） ハッピー・フラワーSUN×2デー
- 10日（金） 卒業式予行
- 13日（月） ハッピー・フラワーSUN×2デー 給食最終日
- 14日（火） 卒業証書授与式
- 15日（水）～20日（月） 3校時限
- 22日（水） 修了式 3校時限
- 23日（木）～4月5日（水） 春季休業
- 28日（火） 離任式
- 30日（木） 新1年生クラス発表・物品販売



← 小学校時代の恩師と一緒に1年生の給食指導をしました。